



## スマホ・ケータイ安全教室



NTT ドコモ スマホ・ケータイ安全教室インストラクター 佐藤のりこ様をお迎えして、スマホ・ケータイ安全教室を行いました。

インターネットの良いところは、「すぐに発信できる」「かんたんにつながる」「たくさんの人に見てもらえる」ところであることや、怖いところは、「一度のせたら消せない」「情報が広がりやすい」「悪い人にもみられるかもしれない」ところであるということやスマホやケータイを使うときに覚えておいてほしいこととして、「1. おうちの人や友達とルールを作る。」「2. 人を傷つける道具として使わない。」「3. 困ったときはおうちの人や先生などまわりの大人に相談する。」ことなどを分かりやすい動画を提示しながら説明していただきました。

子どもたちが今後生きていく上で、インターネット、スマホやケータイ等は避けては通れないものだと思います。しかし、「与えたら終わり」では、子どもたちを加害者や被害者にさせてしまいます。自転車乗りを覚えさせるときに、自転車を持ってあげるなど、一緒に寄り添いながら慣れるまで関わってあげたように、スマホやケータイも一緒に使い方を考えてあげることが大人の責任であることを私も再確認することができました。

今後もこのような機会を作れるよう努めてまいりますので、子どもたちを守るために、積極的なかわりをよろしく願いいたします。



## 他人からの評価ではなく自分で存在意義を見出す

小児外科医・特定非営利活動法人ジャパンハート最高顧問 吉岡秀人さんの書いた文章にこのようなものがありました。

「人間は、自分の存在意義を見出そうとする生き物です。ときには、他人からの評価や自分の肩書、地位などを材料として、自分を価値づけようとする場合もあります。しかし、そういった周囲や社会から見た価値観ではなく、自分自身で自分を納得させることができれば、これ以上に幸せなことはありません。(中略)これからを担っていく世代の人たちには、ぜひ自分の心の声を見極める感性を養っていただきたいと思います。」【引用・総合教育技術 11月号 小学館】

とても共感できる文章でしたので、引用させていただきました。

子どもたちが将来、自信をもって生きていくためには、まさに「自分自身で自分を納得させる」ことが重要になってくるのだと思います。そのためには、自分なりの考えを明確にもつことができるとともに、様々な価値観について理解するために数多く価値ある体験をしていくことが大切です。そういう意味でも、小学校での6年間は、「自分の心の声を見極める感性」を養う重要な6年間です。保護者の皆様と良きパートナーとして、子どもたちに感性を養えていけたらと強く思っております。

### 【校長のつぶやき】

- 佐柄 陽仁(さがら はると)君は、校内マラソン記録会に向けて一生懸命練習に励んでいます。試走でも、あきらめることなく完走することができました。つらいことにも進んで取り組めるすごい1年生です。

